

## 令和4年度 小・中学校事務職員新任主査研修 実施要項

- 1 目的 指導的立場にある主査としての自覚を高め、その業務を遂行していく上で必要な資質・能力の向上を図る。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校の事務職員のうち、新任主査である者
- 3 内容等

| 回 | 日時                                   | 内容  | 講師等  |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1 | オンデマンド開催<br>6月28日(火)<br>～<br>7月8日(金) | 主査に期待すること<br><br>人権教育の現状と課題<br><br>[講義]           | 大阪府教育庁<br>教職員人事課職員<br><br>大阪府教育センター<br>指導主事等 |
|   | 提出日: 7月11日(月)                        |   |  |
|   | 7月11日(月)<br>15:00～17:00              | 業務遂行能力について<br>ーファシリテーションのスキルを生かしてー<br><br>[講義・演習] | 株式会社 ひとまち                                    |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 企画室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
  - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
  - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
  - (5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。
  - (6) **オンデマンド開催分の振り返りレポートは研修資料から印刷し、7月11日(月)の集合開催時に持参すること。**

## 令和4年度 小・中学校事務職員課新任主査研修 シラバス

## 1 目的

指導的立場にある主査としての自覚を高め、その業務を遂行していく上で必要な資質・能力の向上を図る。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA小・中学校事務職員スタンダード |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
|                      | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 第4期                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 第3期                  |   | ○ |   |   | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○  |
| 第2期                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 第1期                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |

## 3 研修課題とねらい等

| 回 | 研修課題                                 | ねらい   | 内容  | 準備物・事前課題  |
|---|--------------------------------------|---|---|---|
| 1 | 主査に期待するもの                            | 指導的立場にある主査としての職務や期待される役割、能力について学ぶ。                                | 講義を通して、主査が担う役割を理解し、職務の専門性を高め、求められる資質・能力等について考える。      | <b>準備物</b><br>振り返りレポート<br><b>事前課題</b><br>オンデマンド開催の講義を受講後、振り返りレポートを記入しておく。 |
|   | 人権教育の現状と課題                           | 人権にかかる様々な課題を理解するとともに、人権感覚を高める。                                    | 講義を通して、人権教育の現状と課題を学ぶとともに自身の人権意識を見直す。                  |   |
|   | 業務遂行能力を身に付ける<br>ーファシリテーションのスキルを生かしてー | 指導的立場にある主査として、ファシリテーションスキルを学び、人材育成に求められる資質・能力について今後の自分の役割について考える。 | 講義、演習を通して、課題を整理し、ファシリテーションのスキルアップを図ることで、課題解決の実践力を高める。 |   |